

水土里レポート

投稿月日	令和7年7月14日(月)
タイトル	「十和田湖水たんけんたい2025」
水土里レポーター名	奥瀬堰土地改良区 工藤 亨

令和7年7月9日(水)、十和田市立法奥小学校と沢田小学校の4年生17名を対象に、「十和田湖水たんけんたい」を開催しました。

この取組は、青森県上北農林水産事務所と青森県土地改良事業団体連合会のご協力のもと行われたもので、地域の農業用水の源である十和田湖や十和田発電所の見学を通じて、奥瀬堰の歴史や用水路の仕組み、地理的なつながりについて学ぶことを目的としています。

児童たちは、農地に水を届けるために設けられた農業用施設を実際に見学し、国の天然記念物「法量のイチョウ」の近くにある、暗渠手掘り跡にも立ち寄りました。

【国指定天然記念物「法量のイチョウ」】



【暗渠手掘り跡】



十和田発電所の水車を回すために水を取り入れている子ノ口の青ブナ取水口や、発電所内にある大きな水車を見学し、水と一緒に流れてくる木の葉や流木などを取り除く「除塵機」のしくみについても学びました。

発電所内で大きな音を立てながら力強く回る水車を目の当たりにした児童たちは、その迫力に圧倒された様子でした。

【青ブナ取水口】



【十和田発電所見学】



奥瀬堰頭首工を見学した後は、奥瀬幹線用水路から田茂木頭首工、沈砂池、幹線排水路を経由して奥入瀬川へと続く水の流れをたどる「アヒルレース」を実施しました。

児童たちは一人ひとり、自分のアヒルの人形を用水路に放流し、ゴールを目指して競いながら、水の流れやその仕組みについて楽しく学びました。

【アヒルレース】

【沈砂池集合写真】



【アヒルレース集合写真】



見学を終えた後は、沢田小学校の理科室にて、各施設で採取した水の水質調査（COD（化学的酸素要求量））を行いました。児童たちは、実際に数値を測定しながら、地域の水がいかにきれいであるかを体感していました。

また、水循環の仕組みについて、青森県土地改良事業団体連合会の職員が講師となり、図や写真を交えながら丁寧に説明していただきました。

【水質調査の様子】

【水循環システム学習】

